

2 個別評価

2 - 1 文部科学省 (A) 事業

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 A-1-1			
事業名 公立学校施設整備費国庫負担事業			
事業費 総額 595,112 千円（国費 446,333 千円） （内訳：調査設計費 21,859 千円、工事費 573,253 千円）			
事業期間 平成 24 年度～平成 27 年度			
事業目的・事業地区 東日本大震災により被災した中野地区の小本中学校及び小本地区の小本小学校については、小本駅周辺地区に統合し、災害復旧事業により再建工事を実施する。災害復旧事業の対象外となる小中複合の校舎及び屋内運動場建築の一部については本事業により整備する。			
事業結果 【工事概要】 構造：校舎 鉄筋コンクリート造 4 階建、屋内運動場 鉄骨造平屋建			
	本事業		関連事業
平成 24 年度	校舎建築設計	基本設計	用地取得
	屋内運動場建築設計		
平成 25 年度	校舎建築設計	実施設計	用地取得 外構工事
	屋内運動場建築設計		
平成 26 年度	校舎建築工事	床面積 4,600 m ² 小学校分 2,392 m ² 中学校分 2,208 m ²	外構工事
	屋内運動場建築工事	面積 2,352 m ² 小学校分 920 m ² 中学校分 1,432 m ²	
平成 27 年度	校舎建築工事	床面積 4,600 m ² 小学校分 2,392 m ² 中学校分 2,208 m ²	外構工事
	屋内運動場建築工事	面積 2,352 m ² 小学校分 920 m ² 中学校分 1,432 m ²	
（別紙として地図・写真を添付）			
事業の実績に関する評価 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 小本小学校及び小本中学校は、東日本大震災により甚大な被害を受け、津波浸水区域外への移転復旧が必要となったが、早期に教育環境を正常化し、令和 3 年 4 月時点小本小学校 56 名、小本中学校 31 名の児童・生徒が安心して学業に取り組める施設等を整備することができたことから、本事業の目的は達せられたと考える。			

② コストに関する調査・分析・評価

本事業について、岩泉町町営建設工事入札参加資格者要綱等の規程に基づき、適正に競争入札を実施している。また、基本設計、実施設計、校舎建築工事、屋内運動場建築工事は、岩手県積算基準等に基づいていることから、本事業のコストは妥当であると評価できる。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	想定事業期間	実際事業期間
基本設計	平成 24 年 10 月～平成 25 年 3 月	平成 24 年 11 月～平成 25 年 3 月
実施設計	平成 24 年 10 月～平成 25 年 3 月	平成 25 年 7 月～平成 26 年 1 月
建築工事等	平成 25 年 12 月～平成 26 年 7 月	平成 26 年 5 月～平成 28 年 1 月

用地取得の遅れにより実施設計に不測の日数を要したことから、◆A-1-1-1 公立学校用地取得及び整地事業分の造成工事等の着手時期に遅れが生じ、他事業との調整に時間を要したことから、工事の一部及び監理業務を平成 27 年度に繰り越したものである。

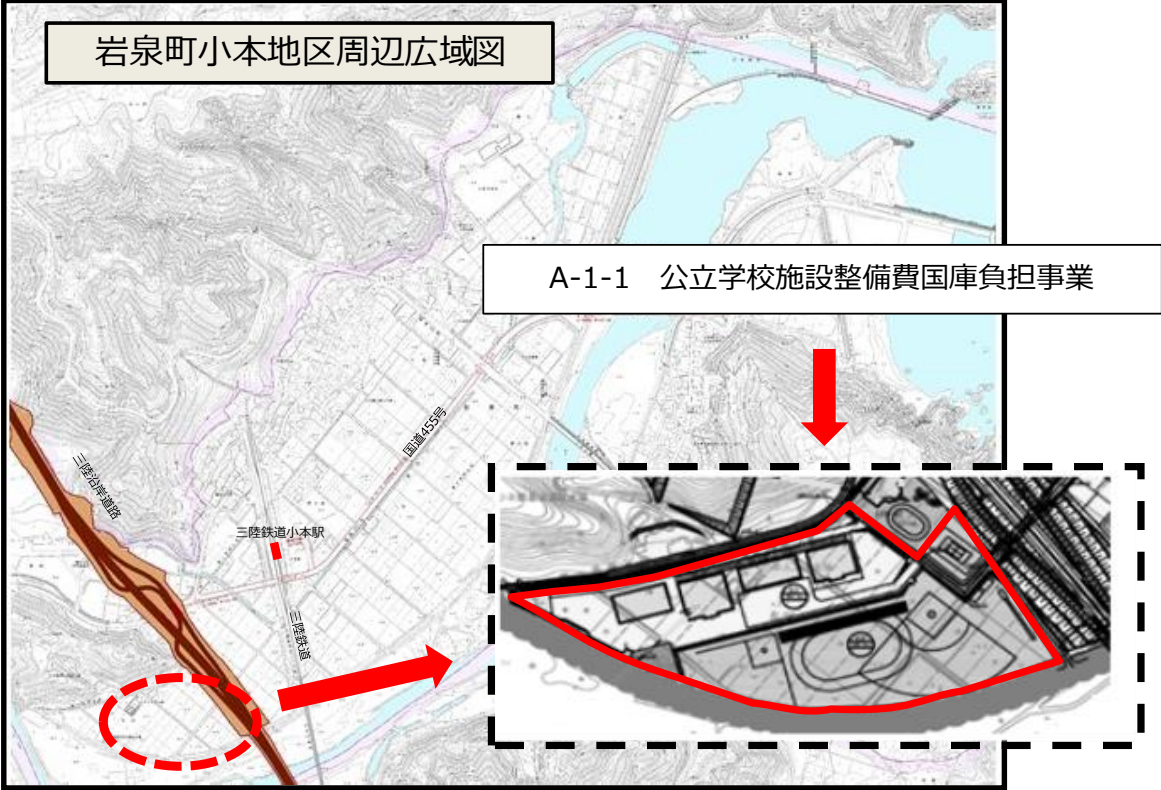
校舎建築工事等の完了は遅れたが、仮設校舎建築での対応により、生徒が学業に取り組める環境づくりをしていたことから、住民等への影響はなかった。

事業完了の遅延以外については工事内容の変更等を都度対応していることから、事業手法に関して問題ないと評価できる。

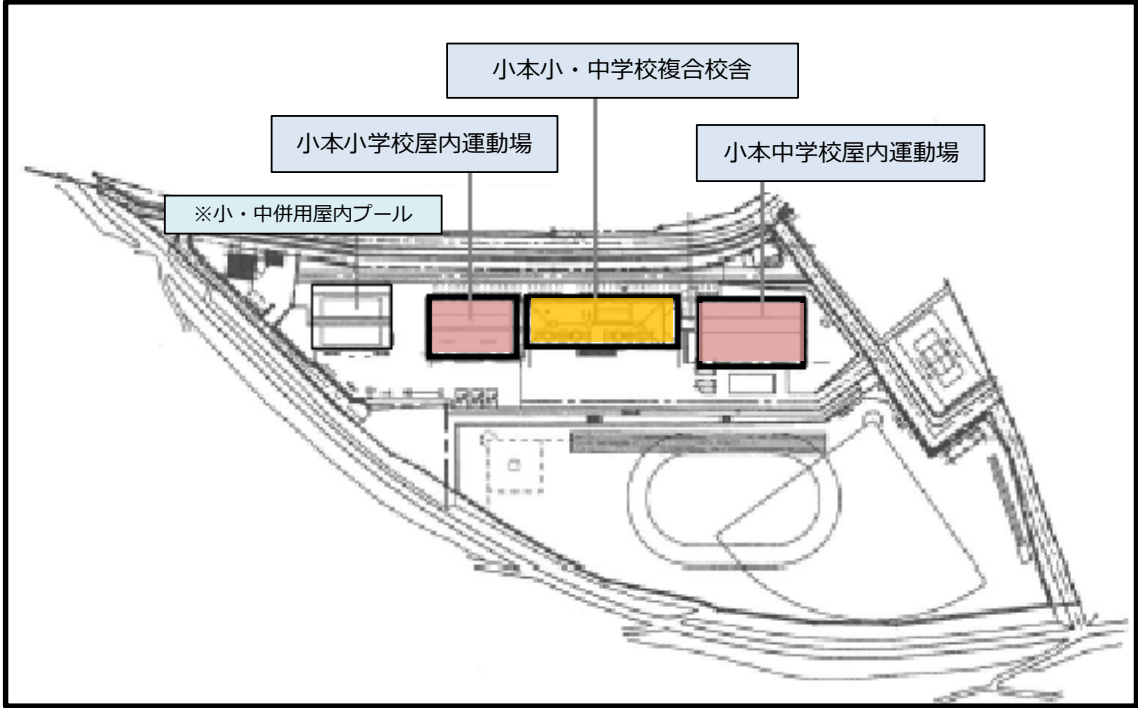
事業担当部局

教育委員会 電話番号：0194-22-2111

位置図



配置図





小本小学校・中学校

校舎・屋内運動場

全景



校舎全景



校舎 1 階

1 階多目的ホール



校舎 1 階

小学校普通教室



校舎 1 階

調理室兼ランチルーム



校舎 2 階

小学校普通教室



校舎 2 階

小学校職員室



校舎 2 階

中学校職員室



校舎 2 階

小学校校長室



校舎 2 階

中学校校長室



校舎 3 階

中学校普通教室



校舎 3 階

中学校普通教室



校舎 3 階

多目的ホール



校舎 4 階

多目的室



校舎 4 階

視聴覚室



校舎 1 階

多機能トイレ



校舎 1 階

男子トイレ



校舎 1 階

男子トイレ



小学校屋内運動場

全景



アリーナ全景



アリーナ天井



中学校屋内運動場

全景



アリーナ全景



アリーナ全景

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆A-1-1-1			
事業名 公立学校用地取得及び整地事業			
事業費 総額 130,730 千円 (国費 104,584 千円) (内訳: 用地費 51,715 千円、工事費 79,015 千円)			
事業期間 平成 24 年度～平成 27 年度			
事業目的・事業地区 東日本大震災により被災した中野地区の小本中学校及び小本地区の小本小学校については、小本駅周辺地区に統合し、災害復旧事業により再建工事を実施する。災害復旧事業の対象外となる用地取得及び造成工事の一部については本事業により整備する。			
事業結果			
【工事概要】			
	本事業		関連事業
平成 24 年度	用地取得	36,927 m ²	
平成 25 年度	用地取得	移転補償	校舎建築設計 屋内運動場建築設計
	一次造成工事	建物敷地 15,059 m ² 屋外運動場 20,288 m ² 他	
平成 26 年度	外構工事	外構舗装工事 5,691 m ² 一部 法面整形工事 1,170 m ² 他	校舎建築工事 屋内運動場建築工事 屋外運動場工事
	学校施設周辺 道路工事	L=271.64m 町道腰廻線取付道路工事 腰廻地区横断管設置工事	
平成 27 年度	外構工事	囲障工事 一式 排水路工事 1,073m 外構基礎工事 一式 他	校舎建築工事 屋内運動場建築工事 屋外運動場工事
	学校施設周辺 道路工事	L=271.64m 町道腰廻線取付道路工事 腰廻地区横断管設置工事	
	造成工事	法面整形工事 700 m ² 排水施設工事 1,740m	
	屋外電気工事	構内配線工事一式	
	屋外給排水設 備工事	構内給排水工事 2 箇所	
	フラッグポー ル整備	フラッグポール 1 箇所	
(別紙として地図・写真を添付)			

事業の実績に関する評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

小本小学校及び小本中学校は、東日本大震災により甚大な被害を受け、津波浸水区域外への移転復旧が必要となったが、早期に教育環境を正常化し、令和3年4月時点小本小学校56名、小本中学校31名の児童・生徒が安心して学業に取り組める施設を整備することができたことから、本事業の目的は達せられたと考える。

② コストに関する調査・分析・評価

本事業について、用地取得は不動産鑑定評価に基づき取得しており、岩泉町町営建設工事入札参加資格者要綱等の規程に基づき、適正に競争入札を実施している。

また、造成工事、外構工事等は、岩手県積算基準等に基づいていることから、本事業のコストは妥当であると評価できる。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	想定事業期間	実際事業期間
用地取得	平成24年3月～平成25年3月	平成24年9月～平成25年5月
造成工事等	平成25年7月～平成26年3月	平成25年9月～平成28年2月

用地交渉等に不測の日数を要し、用地取得手続きの着手に遅れが生じ、A-1-1 公立学校施設整備費国庫負担事業において実施設計に不測の日数を要したことから、造成工事等の着手時期に遅れが生じた。

また、外構工事について平成26年11月に見積入札を行ったが不調となり、平成27年1月の2度目の入札で落札となったため工事の着工時期に遅れが生じ、工事の一部及び監理業務を平成27年度に繰り越したものである。

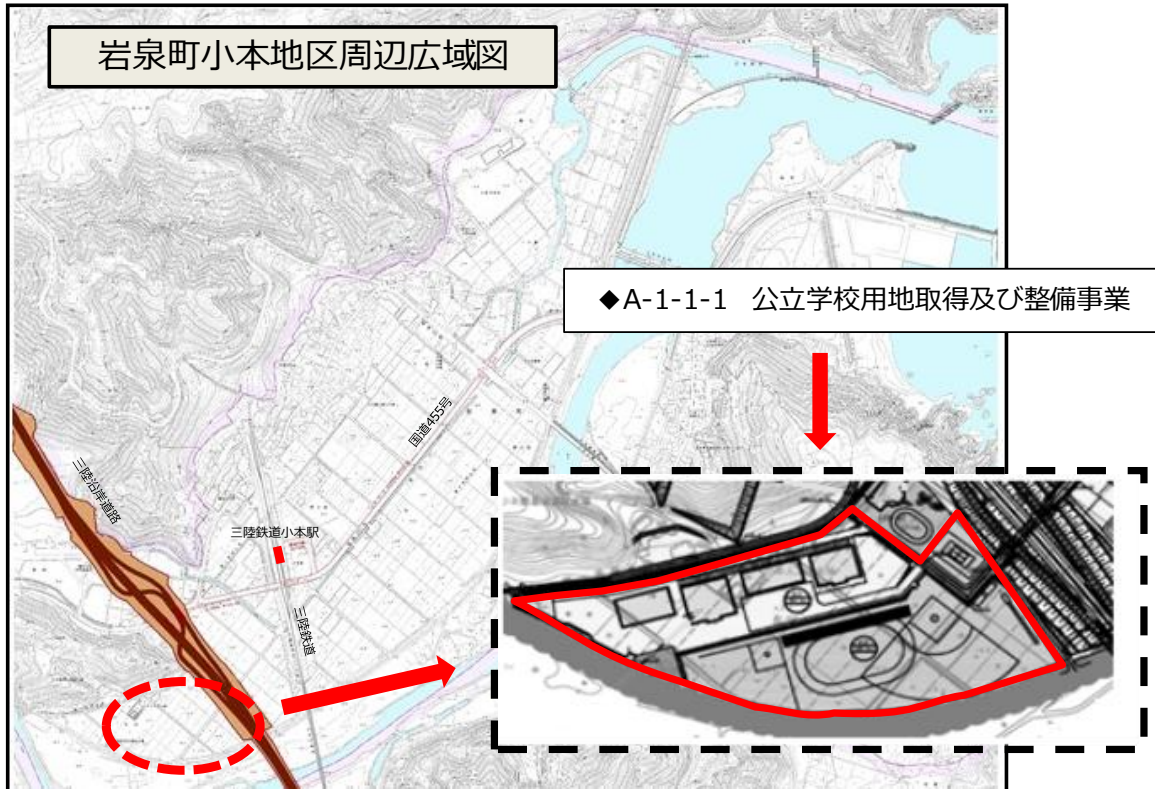
造成工事の完了遅延により、A-1-1 公立学校施設整備費国庫負担事業分の校舎建築工事等の他事業に完了遅延等の影響を与えた。他事業に影響を与えたが、仮設校舎建築の対応により、生徒が学業に取り組める環境づくりをしていたことから、住民等への影響はなかった。

工期については適切な入札を行った上での不調であり、事業完了の遅延以外については工事内容の変更等を都度対応していることから、事業手法に関して問題ないと評価できる。

事業担当部局

教育委員会 電話番号：0194-22-2111

位置図



写真：公立学校用地全体



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 A-2-1			
事業名 小本小学校屋外運動場整備事業			
事業費 総額 4,032 千円（国費 2,688 千円） （内訳：工事費 4,032 千円）			
事業期間 平成 26 年度～平成 27 年度			
<p>事業目的・事業地区</p> <p>東日本大震災で被災した小本小学校を小本中学校と統合し、小本駅周辺地区に移転復旧する際に必要とされた用地取得と一次造成工事を行った（◆A-1-1-1）。</p> <p>本事業は、上記復興交付金事業で用地取得し一次造成工事を行った屋外運動場（小中共用）の中学校相当分について整地等の整備を行う。</p> <p>なお、屋外運動場（小中共用）の面積及び設計等は以下の点を踏まえて決定した。</p> <p>①学校体育活動・運動部活動を行うにあたり必要な運動場の広さを確保すること。</p> <p>②津波警報発令時、地区住民及び三陸縦貫道路・国道 455 号からの自動車避難の車両受け入れに必要なスペースと緊急時のドクターヘリ等の離着陸エリアを確保すること。</p>			
事業結果			
	工事	規模	関連事業
平成 26 年度	造成工事	法面整形工事 700 m ² 小学校分：336 m ² 排水施設工事 1,740m 小学校分：835.2m	校舎建築工事 屋内運動場工事
平成 27 年度	外構工事	舗装工事 5,691 m ² 小学校分：2,731.68 m ² 芝張工事 1,524 m ² 小学校分：731.52 m ² 遊具一式	校舎建築工事 屋内運動場工事
	屋外運動場工事 グラウンド整地 校庭付帯設備	校庭 17,825 m ² 小学校分：8,556 m ²	
<p>※按分率は、校舎面積の割合から按分（小学校 48%、中学校 52%） （別紙として地図・写真を添付）</p>			
事業の実績に関する評価			
<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>小本小学校は、東日本大震災により甚大な被害を受け、津波浸水区域外への移転復旧が必要となったが、早期に教育環境を正常化し、令和 3 年 4 月時点小本小学校 56 名の児童が安心して学業に取り組める施設を整備することができたことから、本事業の目的は達せられたと考える。</p>			
<p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>本事業について、岩泉町町営建設工事入札参加資格者要綱等の規程に基づき、適正に競争入札を実施している。また、造成工事、外構工事、整備工事等は、岩手県積算基準等に基づいていることから本事業のコストは妥当であると評価できる。</p>			

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

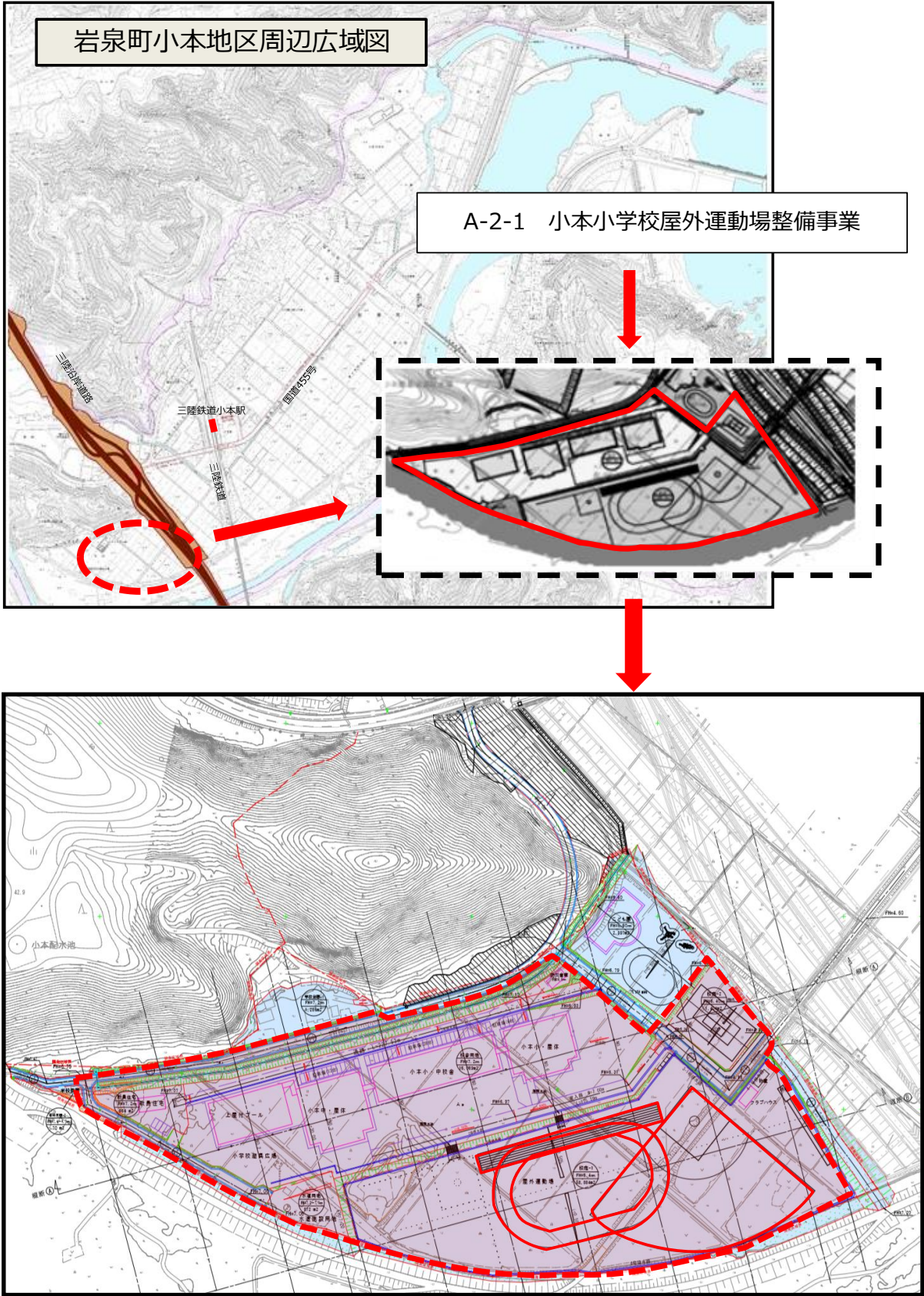
	想定事業期間	実際事業期間
工 事	平成 26 年 12 月～平成 28 年 1 月	平成 27 年 1 月～平成 28 年 2 月

工事について予定どおり事業を進めることができた。また、事業手法に関しても問題ないと評価できる。

事業担当部局

教育委員会 電話番号：0194-22-2111

位置図





小本小学校屋外運動場整備事業





屋外運動場



屋外運動場



遊具



校庭付帯設備

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 A-2-2 事業名 小本中学校屋外運動場整備事業			
事業費 総額 6,803 千円 (国費 4,535 千円) (内訳: 工事費 6,803 千円)			
事業期間 平成 26 年度～平成 27 年度			
事業目的・事業地区 東日本大震災で被災した小本小学校を小本中学校と統合し、小本駅周辺地区に移転復旧する際に必要とされた用地取得と一次造成工事を行った (◆A-1-1-1)。 本事業は、上記復興交付金事業で用地取得し一次造成工事を行った屋外運動場 (小中共用) の中学校相当分について整地等の整備を行う。 なお、屋外運動場 (小中共用) の面積及び設計等は以下の点を踏まえて決定した。 ① 学校体育活動・運動部活動を行うにあたり必要な運動場の広さを確保すること。 ② 津波警報発令時、地区住民及び三陸縦貫道路・国道 455 号からの自動車避難の車両受け入れに必要なスペースと緊急時のドクターヘリ等の離着陸エリアを確保すること。			
事業結果			
	工事	規模	関連事業
平成 26 年度	造成工事	法面整形工事 700 m ² 中学校分: 364 m ² 排水施設工事 1,740m 中学校分: 904.8m	校舎建築工事 屋内運動場工事
平成 27 年度	外構工事	舗装工事 5,691 m ² 中学校分: 2,959.32 m ² 芝張工事 1,524 m ² 中学校分: 792.48 m ² 遊具一式	校舎建築工事 屋内運動場工事
	テニスコート整備	テニスコート 1,448 m ²	
	屋外運動場工事 グラウンド整地 校庭付帯設備	校庭 17,825 m ² 中学校分: 9,269 m ²	
※按分率は、校舎面積の割合から按分 (小学校 48%、中学校 52%)			
(別紙として地図・写真を添付)			
事業の実績に関する評価 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 小本中学校は、東日本大震災により甚大な被害を受け、津波浸水区域外への移転復旧が必要となったが、早期に教育環境を正常化し、令和 3 年 4 月時点小本中学校 31 名の生徒が安心して学業に取り組める施設を整備することができたことから、本事業の目的は達せられたと考える。			

② コストに関する調査・分析・評価

本事業について、岩泉町町営建設工事入札参加資格者要綱等の規程に基づき、適正に競争入札を実施している。また、造成工事、外構工事、整備工事等は、岩手県積算基準等に基づいていることから本事業のコストは妥当であると評価できる。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

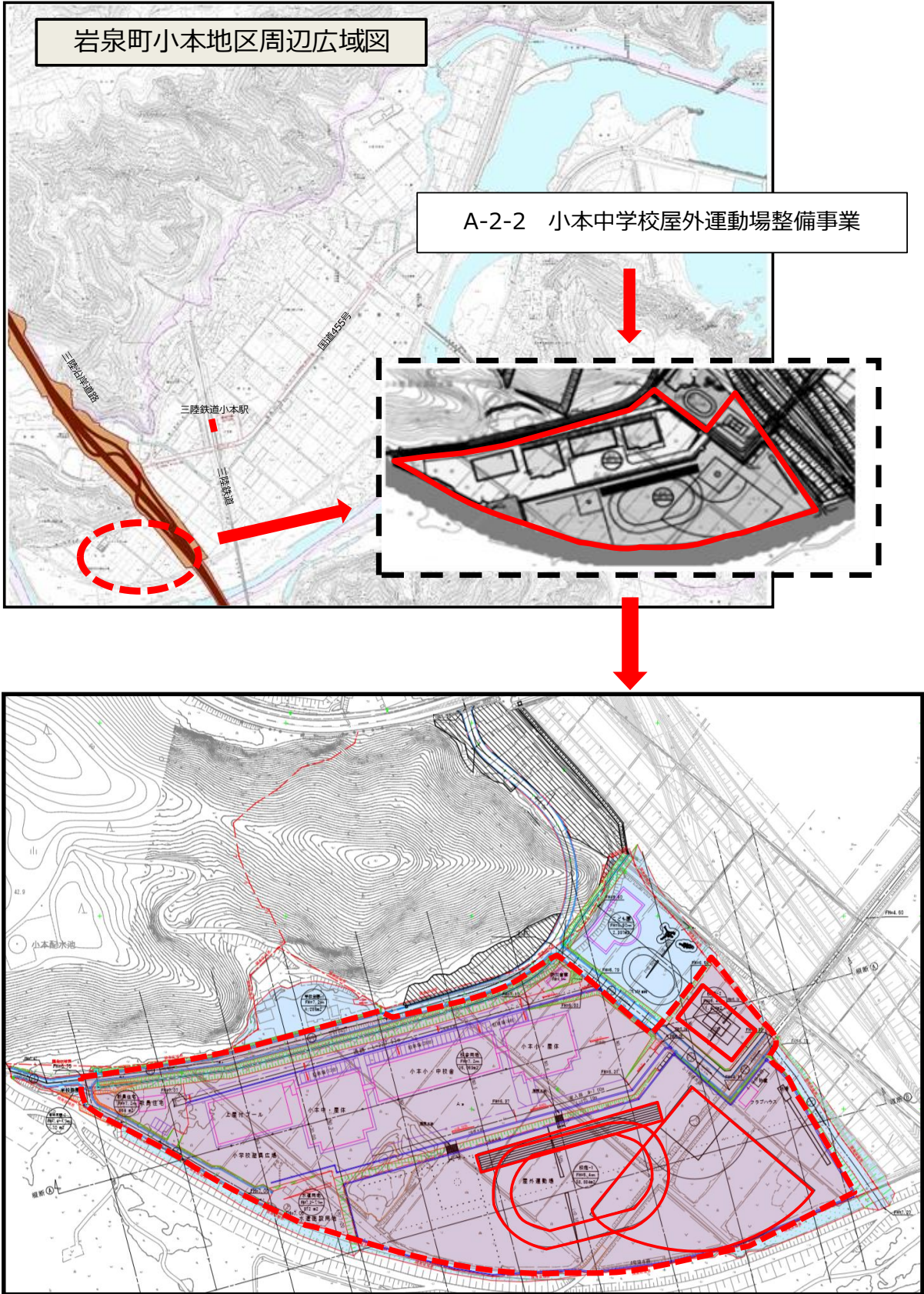
	想定事業期間	実際事業期間
工 事	平成 26 年 12 月～平成 28 年 1 月	平成 27 年 1 月～平成 28 年 2 月

工事について予定どおり事業を進めることができた。また、事業手法に関しても問題ないと評価できる。

事業担当部局

教育委員会 電話番号：0194-22-2111

位置図





小本中学校屋外運動場整備事業

屋外運動場



屋外運動場



屋外運動場 全景

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

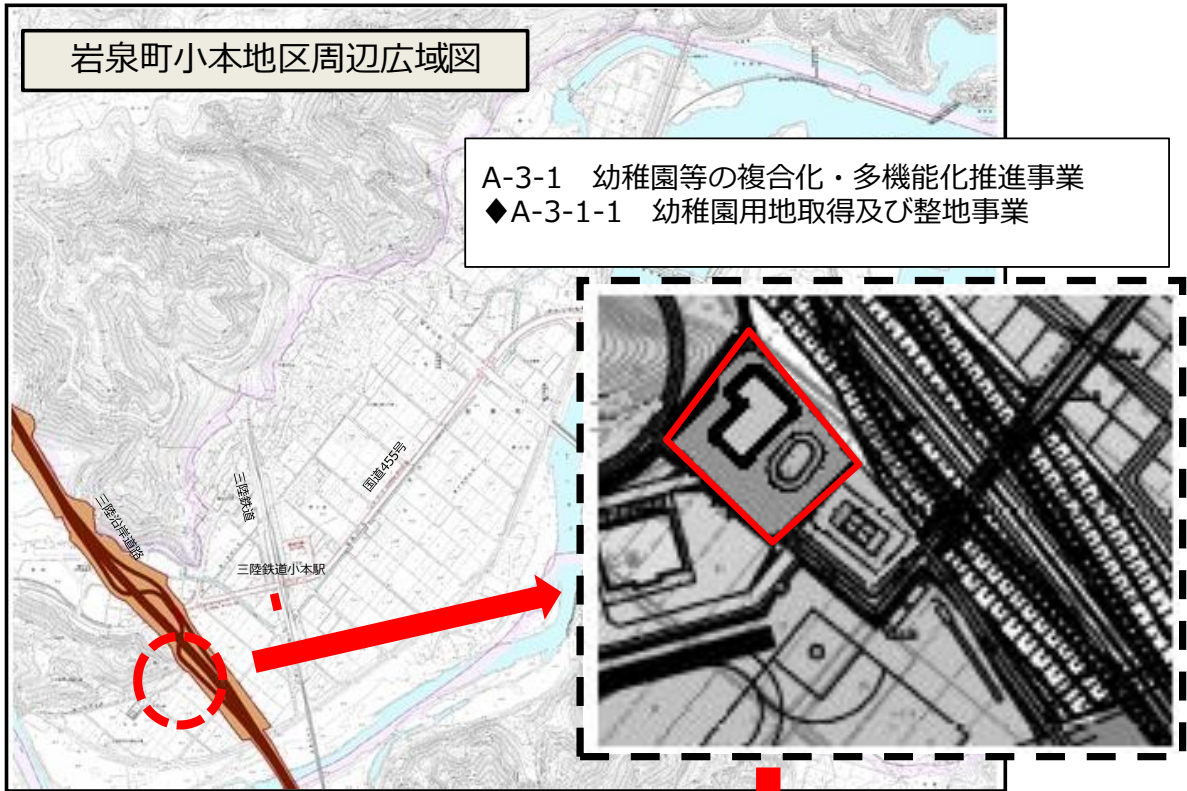
事業番号 A-3-1											
事業名 幼稚園等の複合化・多機能化推進事業											
事業費 総額 20,330 千円（国費 15,247 千円） （内訳：工事費 19,221 千円、設計・監理費 1,109 千円）											
事業期間 平成 24 年度～平成 26 年度											
<p>事業目的・事業地区</p> <p>中野地区の小本保育園については、住宅と同様に東日本大震災の津波により被災した。これらを津波浸水区域外の安全な場所に移転するとともに、子育て関連施設の複合化・多機能化を図るため、小本駅周辺地区に統合し、災害復旧事業により再建工事を実施する。再建する小本保育園は、幼稚園機能を加えておもとこども園（認定こども園）とした。</p> <p>災害復旧事業の対象外となる園舎の設計、工事の一部について、幼稚園機能相当分を本事業により整備する。</p>											
<p>事業結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度 用地取得（◆A-3-1-1）遅延により実施なし ・平成 25 年度 実施設計 ・平成 26 年度 建物本体工事 <p>【別添】位置図、写真</p> <p>建物の概要 木造平屋建て 延床面積 599.33 m²（うち当該事業分 65.22 m²）</p>											
<p>事業の実績に関する評価</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>小本保育園は、東日本大震災により甚大な被害を受け、津波浸水区域外への移転復旧が必要となったが、早期に安全な場所へ移転し、子育て関連施設を複合化・多機能化して子どもと子育てを身近な地域で支える施設を整備することができた。</p> <p>在籍している園児の人数は、平成 23 年 4 月 1 日時点 29 名、平成 28 年 4 月 1 日時点 40 名、令和 3 年 4 月 1 日時点 33 名の園児が在籍しており、安全な津波浸水区域外での子育て関連施設による教育環境が作られている。</p> <p>このことから、本事業の目的は達せられたと考える。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>本事業について、岩泉町町営建設工事入札参加資格者要綱等の規程に基づき、適正に競争入札を実施している。また実施設計、建物本体工事にあたっては、岩手県積算基準に基づいていることから、本事業のコストは妥当であると評価できる。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想定事業期間</th> <th>実際事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施設計</td> <td>平成 24 年 4 月～平成 25 年 1 月</td> <td>平成 25 年 7 月～平成 26 年 1 月</td> </tr> <tr> <td>工 事</td> <td>平成 25 年 1 月～平成 25 年 3 月</td> <td>平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月</td> </tr> </tbody> </table> <p>用地取得（◆A-3-1-1）に不測の日数を要したことから、その後の工程に遅延が生じた。</p>				想定事業期間	実際事業期間	実施設計	平成 24 年 4 月～平成 25 年 1 月	平成 25 年 7 月～平成 26 年 1 月	工 事	平成 25 年 1 月～平成 25 年 3 月	平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月
	想定事業期間	実際事業期間									
実施設計	平成 24 年 4 月～平成 25 年 1 月	平成 25 年 7 月～平成 26 年 1 月									
工 事	平成 25 年 1 月～平成 25 年 3 月	平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月									

また、工事に関しては周辺他事業の災害復旧事業や復興事業との調整等により、当初計画から時間を要し、完了は遅延したが、仮設校舎による教育環境づくり等の対応により園児等の教育に影響はなかった。事業完了の遅延以外については工事内容の変更等を都度対応しており、事業手法に関して問題ないと評価できる。

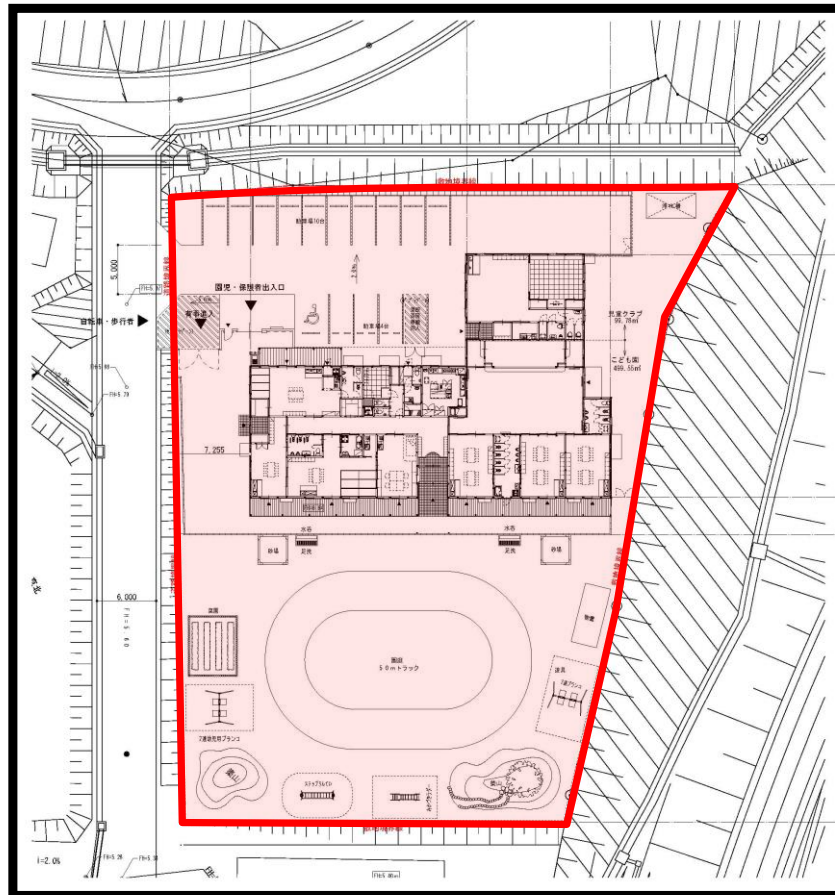
事業担当部局

保健福祉課 電話番号：0194-22-2111

岩泉町小本地区周辺広域図



配置図





全景



玄関外部



園児室



遊戯室



調理室



園児トイレ

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆A-3-1-1 事業名 幼稚園用地取得及び整地事業		
事業費 総額 4,207 千円（国費 3,365 千円） （内訳：用地費 1,026 千円、造成費 3,066 千円 設計費 115 千円）		
事業期間 平成 24 年度～平成 26 年度		
事業目的・事業地区 中野地区の小本保育園については、住宅と同様に東日本大震災の津波により被災した。これらを津波浸水区域外の安全な場所に移転するとともに、子育て関連施設の複合化・多機能化を図るため、小本駅周辺地区に統合し、災害復旧事業により再建工事を実施する。再建する小本保育園は、幼稚園機能を加えておもとこども園（認定こども園）とした。 災害復旧事業の対象外となる用地の取得、整備の一部について、幼稚園機能相当分を本事業により整備する。		
事業結果 ・平成 24 年度 用地取得交渉 ・平成 25 年度 用地取得、敷地造成工事 ・平成 26 年度 敷地造成（園庭整地）工事 敷地面積 3,191 m ² （うち当該事業分 347 m ² ）		
事業の実績に関する評価 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 小本こども園は、東日本大震災により甚大な被害を受け、津波浸水区域外への移転復旧が必要となったが、早期に安全な場所へ移転し、子育て関連施設を複合化・多機能化して子どもと子育てを身近な地域で支える施設を整備することができた。 在籍している園児の人数は、平成 23 年 4 月 1 日時点 29 名、平成 28 年 4 月 1 日時点 40 名、令和 3 年 4 月 1 日時点 33 名の園児が在籍しており、安全な津波浸水区域外での子育て関連施設による教育環境が作られている。 このことから、本事業の目的は達せられたと考える。		
② コストに関する調査・分析・評価 本事業について、用地取得にあたっては不動産鑑定評価に基づき取得しており、岩泉町町営建設工事入札参加資格者要綱等の規程に基づき、適正に競争入札を実施している。 また、敷地造成工事は、岩手県積算基準等に基づいていることから、本事業のコストは妥当であると評価できる。		
③ 事業手法に関する調査・分析・評価		
	想定事業期間	実際事業期間
用地取得	平成 24 年 4 月～平成 24 年 6 月	平成 24 年 4 月～平成 25 年 4 月
造成工事	平成 24 年 6 月～平成 24 年 9 月	平成 25 年 7 月～平成 27 年 3 月
住民説明、用地交渉等に不測の日数を要したことから、その後の敷地造成工事の着手にも遅れが生じた。		

造成工事の期間が延びたことに関しては、当初は敷地の盛土工事のみを対象事業に想定していたが、園庭整地についても対象工事としたことにより対象工事期間が延びたものである。完了は遅延したが、仮設校舎による教育環境づくり等の対応により園児等の教育に影響はなかった。事業完了の遅延以外については工事内容の変更等を都度対応しており、事業手法に関して問題ないと評価できる。

事業担当部局

保健福祉課 電話番号：0194-22-2111